



心と心をつなぐ ココロード通信

滋賀県土木交通部道路課

お知らせ

• ココロード通信第3巻に突入です。本年度もココロード通信をよろしく願います。

• 「標識ボックス」設置中!

標識に関する様々なご提案を募集しています。詳しくは道路課道路保全担当まで。

• 「道の相談室」(近畿地区全域)が拡大開設!

~「道」についてのご質問・ご相談にお答えします~

フリーダイヤル

ドローよくなれ

0120-106-497

ご利用時間は

9:30~17:00です。

FAX:06-4799-1262

終日利用可能です。

インターネットアドレス

<http://www.kinkiroad.org/soudan/>

終日利用可能です。

• ココロード通信は滋賀県ホームページでも閲覧できます。

<http://www.pref.shiga.jp/h/doro/>

「4月15日は滋賀県が初めて県道を認定した日です!」

明治20年(1887年)4月15日は、北国街道など8路線を滋賀県県道として初めて認定した日です。

街道めぐり ~ 中山道 ~ ~「武佐宿」~

伊勢に向かう八風街道との分岐点、中山道66番目の宿場「武佐宿」。武佐墨や武佐榊の産地として知られ、本陣の門構えや旅籠が往時の雰囲気を与えています。街道沿いの建物解説看板は、小学生の卒業制作によるもので、通行者に癒しを与えています。地名に因んだ「むしゃりんどう」が美しく咲き誇った昨年6月に近江中山道400年祭「武佐宿まつり」を開催し、往時の賑わいを再現しました(下写真は「武佐宿まつり」)。(近江八幡市道路交通課)



~「愛知川宿」~

本陣・脇本陣それぞれ1軒、問屋町2軒、旅籠28軒と中規模な宿場町であったといわれ、歌川広重「木曾街道六十九次之内六十六」に描かれた「愛知川宿」。愛知川商人と呼ばれる人々が発展させた宿場町を、現在では常夜灯や脇本陣跡の石碑が往時の雰囲気を偲ばせてくれます。毎年10月には地元商工会青年部が中心に「つくりだそう平成の愛知川宿」をテーマに中山道66番祭を開催し、豊穡の秋空の下、多くの賑わいを見せています。

(愛知川町環境整備課)



ココロード通信キャラクター決定!!

創刊号から募集をしていましたココロード通信のキャラクター、ついに決定しました。応募者の中から青森県弘前市にお住まいの工藤さん作成によるものに決定しました。自然を表した緑を基調に“滋賀県の道路の妖精”をイメージし、頭の形は滋賀県の道路に吹く爽やかな風を、胸の“ココロ”は心温まる道路づくりを目指すことを表現している、とのコメントもいただきました。愛称は選考委員会で「ココロ」に決定!ココロード通信と同様にかわいがってください。



湖東地域の「道文化」を後世に引き継ぐために！

湖東地域振興局では、今後10年間の道路事業実施箇所をまとめた「道路整備アクションプログラム」を策定中ですが、これと併せて学識経験者や地域住民の方などによる計4回のワーキングを開催し、地域の課題や住民ニーズの把握に努めてきました。ワーキングでは、道の歴史や変遷をたどりながら現状の問題点等について活発な話し合いが行われ、中山道や彦根キャスルロードなど地域を代表する道、事故や渋滞など課題を抱えている箇所を実際に確認しながら討議を行いました。こうした議論を重ねて、今回「地域の文化や

特色と共生する道づくり」など五つの提言が出されました。これを受けて振興局ではアクションプログラムの策定作業を進めています(下写真は現地調査状況写真)。

(湖東地域振興局建設管理部)



～近江の美知普請～

皆さんご存知の歌集「万葉集」には、「みち」に「美知」を当て字した用例がかなりあります。これは海と山で遮られ小さな平野で暮らす人たちが、道を通じ、美味しいもの、楽しいものが来ると考え、その感性が「道」を「美しく知る」と書くことにつながったのであろうといわれています。滋賀県では、この先人の感性から生まれた「美知」と奉仕の精神である「道普請」(右豆知識 参照)を重ね合わせ、県民やNPO(ココロード通信第2巻第1号参照)、企業等が協働して道路管理を行う試み「美知普請」を始めます。内容としては、通勤通学等で県管理の道路を通行される個人又は団体に、道路の穴ぼこ等を見つけた際に連絡いただく**マイロード登録者制度**、県管理道路付近の企業等に道路愛護活動をしていただく**「美知メセナ」制度**、自治会等の団体に県管理道路の植栽や美化清掃等の活動

をしていただく**道路愛護活動事業**の3つがあります(現在**マイロード登録者制度**へは56路線60人、**道路愛護活動事業**へは延長26km47団体、**「美知メセナ」制度**へは長浜市の長浜キャノン株式会社さんと木之本町の八田組さんの2社の登録をいただいています)。皆様のご協力、ご参加をよろしく願います。

(道路保全担当)



(近江の美知普請マスコット、『みちちゃん、ふしんちゃん』です)

通れます！開通情報

彦根米原線
(米原町磯～入江、2076m)
平成15年3月27日開通！



中野新旭線
(安曇川町下古賀～安井川、2533m)
平成15年1月31日開通！



小浜朽木高島線
(朽木村野尻～荒川地先、1057m)
平成14年11月30日開通！

国道421号
(八日市市妙法寺町～東沖野四丁目、660m)平成15年3月24日開通！

(道路建設担当)

知ってます？豆知識 ～『道普請』～

鎌倉時代に盛んに使われていた言葉「道普請」。「普請」とは禅語で「あまねく」と読み、「大勢に願う」という意味で、もともとはお寺のお堂や塔を建築するときに地域の人々に労働をしていただく意味で、土木や建築の作業を表す言葉でした。そこから、地域の人々が自ら道をつくって守っていくものという意味が込められ、わが県においても各地で行われてきました。